

平成30年度 第2回京丹波町子ども・子育て審議会 議事概要

日時：平成31年2月27日（水）午前9時30分～11時30分

場所：瑞穂保健福祉センター 集団指導室

出席委員：13名

欠席委員：6名

1 開会

2 開会あいさつ（会長）

副会長：今日は、会長が欠席となり、会長の代行をさせていただく。皆様から忌憚のないご意見をいただき、審議を進められるようにご協力をお願いします。

3 協議事項

（1）子ども・子育て支援事業計画の進捗管理について

①量の見込み及び確保方策における29年度実績

【事務局による説明】

副会長：事務局からの説明について、質問などはないか。

委員：病児・病後児保育の取り組みで、31年度から1箇所準備を進めているとのことだが、具体的に他市との連携等、説明をお願いしたい。

⇒事務局：まだ進んでいない状況である。亀岡市は民間の医療機関で病児・病後児保育を実施している。京丹波町単独で病児・病後児保育を実施することは難しい。南丹市や綾部市との広域的な枠の中で、小児科医が常駐という条件になるので、取り組みが進められるよう京都府とも調整している段階である。

委員：病児・病後児保育というのは、保育中の発熱などの緊急の場合に親に迎えに来てもらえない場合なのか、熱があつて預ける場所がない時に、小児科のある医療機関で預かってもらう取り組みなのか。両方に対応してもらえるのか、どのように考えているか。

⇒事務局：保育中に体調不良の場合の保護者のお迎えを待つ保育は、体調不良児保育となる。園の中で看護師や養護教諭が保育する。病院で急性期を過ぎて回復を待つ、病児・病後のお子さんを病院で預かるのが、病児・病後児保育となる。3つのパターンがあるが、病院で預ける場合には、条件もある。例えば熱が38.5度以上あるお子さんは預かることができないなどを条件にしているところもある。流行性の感染力が強い病気についても預かれない場合がある。対象が限定されていく場合が多い。インフルエンザや感染性胃腸炎など、同じ部屋で2

つ以上の感染症のお子さんを預かると移し合ってしまう。それぞれの感染症ごとに隔離して保育していくのが一番良い方法だが、保育士や看護師の確保も必要になるので、難しい状況である。

委員：保育所で熱が出た時に迎えに来るよう言われても、すぐ動けない場合には対応しているのか。京丹波町内ではなく、南丹市などの医療機関へ預けてから仕事に行かなければいけないのは、今のニーズとして保護者の方が想定されているのか。難しいと思うが、保護者のニーズに即した取り組みにならないと、せっかく実施できても、利用につながらないともったいない。これから考えるのであれば、検討していただきたい。

②総合的施策における 29 年度の取り組み実績

【事務局による説明】

副会長：事務局からの説明について、質問などはないか。

委員：図書室の環境整備について、日曜日に利用ができないのが課題である。日曜の開室も検討いただきたい。また、町立病院の小児科の土曜日診療が、第2・第4土曜のみとなった。できれば毎週開けていただきたい。

⇒**事務局：**図書室に関しては、図書館の検討プロジェクトチームで検討している。今ある図書室の充実、日曜日の開室についても検討する。

副会長：事務局で意見をまとめ、今後の取り組みに活かしていただきたい。

(2) 子ども・子育て支援事業計画策定に向けたニーズ調査（速報）について

【事務局による説明】

副会長：事務局からの説明について、質問などはないか。

＊質問なし

(3) その他

特になし

4 報告事項

(1) 京丹波町立（仮称）たんばこども園新園舎建設基本計画の見直しについて

【事務局による説明】

・療育事業施設の併設に係る見直しについて説明

＊質問なし

(2) 町立認定こども園開設に係る調整事項検討結果報告書

委員：現時点での幼稚園、保育園の費用負担の差や共通事項、違うところについて、教えていただきたい。

⇒**事務局：**項目が多く、現在、洗い出しをしている。内部の会議で金額の違いなども

確認している段階である。ここで説明するのは難しい。

委員：一時預かり制度について、1号認定のお子さんは、夏期休業中は夏期保育だけで、一時預かりを利用できないと午後1時半降園になる。夏期休業中も一時預かり保育を利用する場合は、2号認定になることが必要なのか。

⇒**事務局：**1号認定のお子さんは午後1時半までの夏期特別保育のみで、一時預かり制度はこの期間には行わないと整理している。

委員：一時預かり事業制度について、今、幼稚園は午後6時まで預かってもらえるが、午後4時半までの短縮となるのか。

⇒**事務局：**就労されているが幼稚園を選ばれている保護者への対応として午後6時までの保育という対応をこれまでしていたが、認定こども園になることによって、2号認定となることも可能になるため、午後6時までの利用になると、認定区分を2号認定に変えていただく対応となる。認定区分が国によって定められていることから、認定区分に沿った形でのお預かりが原則となる。

委員：就労していなくて、家庭の用事等の場合、1号認定では午後6時までの預かりはできないのか。

⇒**事務局：**現時点の原則となるので、ご意見も踏まえ、これから検討も加えていく。

⇒**事務局：**原則としてなので、あくまでも緊急時には原則を外した対応もしている。制度としては、原則として定めなければいけないので、ご理解いただきたい。

5 次回会議予定

【第3回】平成31年3月27日（水） 午後1時30分～
瑞穂保健福祉センター

6 閉会あいさつ（副会長）

副会長：本日も熱心にご審議いただいたことにお礼を申し上げます。次回は平成30年度最後の審議会となる。子どもたちの健やかな成長のために、今後ともご協力をお願いしたい。

7 閉会